

第9回 砧地域ご近所フォーラム

特別企画

「みんなで応援しよう



～地域をデザインする」

身近なところに、様々なハンディを乗り越えて活躍している人・活躍しようとしている人がいます。4名の方からお話を聞き、活動を知ってもらうとともに、交流を通じて、地域で自分たちがどんな応援ができるか一緒に考えます。

一人ひとりが地域をデザインするアーティスト(地域づくりの担い手)として、よりよい地域づくりを考えていきかけづくりを目指します。

是非ご参加ください。

日時 2019年3月16日(土) 10時～正午

会場 成城ホール集会室(4階) 成城6-2-1

入場無料・参加自由(事前申込み不要)

お問い合わせ 砧総合支所保健福祉センター保健福祉課

TEL 3482-8193 FAX 3482-1796



イメージキャラクター
わっくん

原作：成城大学卒業生 澁谷翼さん

◆出演者4名の自己紹介

出演者は変更となる場合があります。

○茅野 建文(かやの・たつふみ)さん(71) 要約筆記通訳つき

～ 難聴の障害がありながらランナーとして活躍 ～

H30. 8 「最東端ぬむろシーサイドマラソン～北方領土を望む」

ハーフ男子70代以上の部 優勝

民間会社に27年勤務。

50歳のとき両親の介護のため退職。

55歳のころ、突発性難聴で聴力低下。

走るのが好きで、23歳ごろからマラソン大会出場。

別府大分毎日マラソンのように大きな大会から各地の大会まで

236回のフルマラソン完走を果たす。

視覚障害者のフルマラソン伴走も48回務める。

ホームヘルパー資格取得。

現在、世田谷区の「障害者緊急介護人派遣制度」登録介護人。

○グエン・バン・トゥエンさん(21)

～ 介護職として活躍することを旨とする外国人留学生 ～

始めまして、グエン・バン・トゥエンと申します。今年21歳です。

ベトナムの中部の方、バンメトトという町から来ました。

出身地の一番有名なのはコーヒーです。

3年前(2016年3月)に日本に来ました。

最初の時、新聞配達しながら日本語の学校に通っていました。

毎日、朝1時から起きて仕事を始めました。

ベトナムは雪がないので、日本に来て初めて雪が見えました。

きれいだなと思っていますが、寒くて、滑りやすく大変でした。

2年間が終わって、介護福祉学校に入ってから、今、グループ

ホームでアルバイトをしながら学校に通っています。

○当日の流れ○(予定) 時間は目安です

- 10:00 開会
進め方等の説明
- 10:10 出演者からのお話
- ・活動について
・動機
・活動にあたって地域に期待すること
応援してほしいこと
- @15分×4名
- 11:10 出演者ごとのグループに分かれて会場の
皆さんとの交流
どんな応援ができるか等の意見交換
@15分×2回
- 11:40 発表
どんなお話があったか
@5分×4名
まとめ
- 12:00 閉会

○竹本 宏(たけもと・ひろし)さん(84)

～ 要介護でありながら特技を活用しイタリア語等の講師を務める ～

鉱山技師として就職したのち(当時転職自体少ない時代)

機械専門商社、エンジニアリング会社と転職

石油関係の大型プラントに使用される調達機器、材料の納期管理、品質管理等の業務を担う。

調達先のグローバル化に伴い、海外出張・駐在も多くなる。

駐在先は、オランダ(ハーグ)、フランス(パリ)、イタリア(ベルガモ)、インドネシア(ジャカルタ)

定年退職(63歳)後、イタリアに事務所を開業し、個人事業として業務継続。

帰国後(76歳)、椎間板に良性腫瘍が発見され手術。脊椎神経損傷し下半身麻痺。(一生車椅子といわれた)

退院後、2本杖で歩行可能まで回復。成城リハセンターにて通所リハビリ利用。デイサービス時にボランティア

としてイタリア語会話を実施し現在に至る。

今年度、世田谷区社会福祉協議会のバックアップで月2回のサロン開設。イタリア語会話と日本の古典(奥の細道)を読む会

として継続中。

○友岡 宏江(ともおか・ひろえ)さん(38)

～ 障害を抱える子どもを育てながら自ら行動している保護者 ～

NPO法人Ohana Kids 理事

染色体異常である「13トリソミー」の娘 壽音(じゅの)

ちゃん(8)と暮らす。

壽音ちゃんが生まれる前は、海外(アジア)で営業事務職として働く。

生まれてから、医療が必要な娘のため日本で生活することになり仕事も辞める。

いろいろな方と関わるなかで、同じ境遇の方たちとネットワークをつくり、重い障害や医療的ケア児の育児のベースアップの必要性を痛感する。その環境を整えるために医療的ケアをもつご家族4組とNPO法人設立。

活動の一環として、医療的ケアを必要とする子どもを預かるデイサービス施設をH30.12月に開設(若林3-23-5)

開設に向けた費用をクラウドファンディングで募り、目標金額200万のところ440万余の支援がありプロジェクトは成功、バリアフリーのための内装費に充てられた。

